# 建設経済委員会　行政視察調査報告書

1　視 察 日　　2023年５月16日（火）～18日（木）

2　視 察 先　　〇三重県多気町
調査事項　　・ヴィソンの取り組みについて
〇大阪府大阪市
・大阪・関西万博の取り組みについて

3　視 察 者　　委　員　長　田　中　藤一郎
副委員長　芹　澤　正　志
委　　員　浅　田　　徹
委　　員　太　田　智　博
委　　員　須　山　泰　一
委　　員　前　田　敦　司
委　　員　前　野　文　孝
委　　員　松　井　正　志
当　　局　米　田　紀　子（観光文化部長）
議会事務局　伊　藤　八千代

スイーツヴィソン現地視察

近畿経済産業局での説明

咲洲庁舎 43 階から会場予定地を遠望

2023 年日本国際博覧会協会事務所にて

| | |
|---|---|
| 日　　時 | 2023 年 5 月 16 日（火）　午後１時 30 分～午後４時 |
| 視 察 先 | 三重県多気郡多気町　多気ＶＩＳＯＮ |
| 調査項目 | 民間主体の大型複合施設ヴィソンと行政の関わりについて |
| 調査内容 | 「自然と共に生き生かされていく」「美しい循環」「健康」をテーマに、2021 年に事業を開始した大型複合施設ＶＩＳＯＮ（ビソン　美しい村の造語）。同事業を立ち上げるまでの過程と行政の関わり方を伺う事を目的として視察を行った。 |
| 所　　感 | 豊岡より高速道路を走る事約４時間。多気町、合同会社三重故郷創生プロジェクトおよび中日本高速道路株式会社 名古屋支社が整備を進め作られた「多気ヴィソンスマートインターチェンジ（ＩＣ）」の看板を目印に施設に到着。施設を管理するヴィソン多気株式会社の総括本部 目野本部長補佐 に話を伺った。<br>同施設は法人代表を務める立花氏が 2003 年、後継者の居ない１つの温泉施設を引き継いだところから始まる。当時、これからの新しい観光を模索する中で「スイーツ」を起点にと考え、世界大会に日本代表として出場され数々の優勝経験をお持ちの辻口シェフを協力者として迎えることに成功。さらには、そこから横のつながりで腕のある料理人の方、建築家・アーティスとの方と協力者が増え 2012 年、温泉だけではなく「癒しと食の複合施設アクアイグニス」として施設再生を遂げる。その効果は従来の菰野町の観光来場人数約 80 万人を計 200 万人に押し上げるほどの実績を出した。そのプロジェクトを推進するメンバーに多気町長も参加しており、2013 年、新たに「健康」をテーマにしたプロジェクトが始まる。協力者はさらに拡大し、健康・美のノウハウ提供をロート製薬（株）が担い、大型商用施設のノウハウをイオンタウン（株）が、資金調達のノウハウをファーストブラザーズ（株）が提供する形で 2021 年複合商業リゾート施設「ＶＩＳＯＮ」（運営：合同会社三重故郷創成プロジェクト）が事業を開始した。こだわり抜かれた 70 店舗が存在し、直営 12 店舗で 230 名を雇用、そのうちの７割は地元採用、出店店舗も含めると 600 名～650 名の雇用を生み出し、現在は年間 300 万人が訪れる施設となっている。<br>また、今回の視察の目的のひとつである行政との関わりだが、開発面積 16 万坪、事業費 220 億円にも及ぶ財源は全て民間であり、行政としては３年間の固定資産税の減免のみとなる。ただ、予算は全て民間ではあるものの行政は住民への説明、政治家などへの情報共有などで協力し、他にも課題やソリューションを近隣５町で情報共有し責任分担を決め積極的に関係し続けている。<br>本事例は、熱意のある民間事業者の方達に、行政の得意な点やできる協力を掛け合わせる形で行われている非常に良い事例であり学ぶ点は多い。年間 2000 万人が来訪する伊勢神宮から 30 分程度に位置する立地や、大手企業も多く関わる規模の大きなプロジェクトの為、豊岡市においても直ぐに同様の事例が出来るとは言えないが、熱意のある民間事業者の方と積極的に意見交換を行い、どうすればより良くなるのかを議論し、官民それぞれの得意分野で役割分担を行い、協創していく事こそがまちづくりに必要だと感じる視察となった。 |

| | |
|---|---|
| 日　　時 | 2023 年５月 17 日（水）　午後１時 55 分～午後２時 40 分 |
| 視 察 先 | 大阪府大阪市 |
| 調査項目 | 大阪・関西万博の取り組みについて |
| 調査内容 | 近畿経済産業局　総務企画部　大阪・関西万博担当者に大阪・関西万博の現況確認と「想い」「目的」「みどころ」「期待」の４つの観点から調査を行った。<br>**【テーマ】**<br>「いのち輝く未来社会のデザイン」では、人間一人一人が自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるとともに、格差や対立の拡大と新たな社会課題や、ＡＩやバイオテクノロジー等の科学技術の発展、長寿命化といった変化に直面する中で、自らにとって「幸福な生き方とは何か」を正面から問う大阪・関西万博である。<br>**【目的】**<br>万博には、「人・モノ」を呼び寄せる力があり、2020 年東京オリンピック・パラリンピック後の大阪・関西、そして日本の成長を持続させる起爆剤とする。<br>**【みどころ】**<br>13 の企業パビリオンの参加に加え、1970 年大阪万博では 76 か国、４国際機関の参加が、今回は 142 か国・地域と８国際機関の参加表明を得ての開催となる。2020 年度に開催されたドバイ万博では、多くの展示物がサークル外であったが、大阪・関西万博は展示物をサークル内に設置するなど、見せて魅せる万博とする。<br>**【万博に期待するもの】**<br>多くの方は「万博＝大きな展示会」だと認識しているが、万博は単なる展示会ではなく社会を変える（良い未来にするためのルールを作り意識を変える）ことを目指す。<br>子どもたちに夢を与え、夢を繋ぐ万博を目指す。<br>万博の閉会後は地域経済の縮小が目立つが、万博が終わっても関西経済が飛躍するために関西地域にとって継続的に何を残すのか。また、関西のみならず国内全域にどのように波及的経済効果をもたらすのかを目指す。<br>拡張万博と位置づけ大阪ではなく関西地域全体とする空間拡張、2025 年以降も万博としてのレガシー（遺産）を残す時間拡張、更には SDGs などのテーマの拡張など万博期間だけで終息せず未来のこどもたちに伝え残す万博を目指す。 |
| 所　　感 | 規模的には過去に国内で開催された万博と比較しても決して大きいものではないが、現在の私たちの生活・暮らしを直感的に捉えた際、一人一人の価値観の多様化や命のあり方、生き方を見つめ直すことで未来への希望を世界に示す万博であり、テーマに共感できることが多くあると感じた。また、万博は世界へのＰＲの場に過ぎず閉会後の持続的な経済発展に繋げていく必要がある。 |

| | |
|---|---|
| 日　　時 | 2023年５月17日（水）　午後３時15分～午後４時50分 |
| 視 察 先 | 大阪府大阪市 |
| 調査項目 | 大阪・関西万博の取り組みについて |
| 調査内容 | ・万博の準備の進捗はどうか<br>・フィールドパビリオンに期待する効果と広報計画<br>・自治体の負担はどの程度か、財源は<br>・SDG’S達成に向けた取り組みは<br>・この度のDXの新たな取り組みは<br>・再生可能エネルギーの活用<br>・今回のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」から国民に伝えたいことは<br>・今回の目標来場者数は<br>・「ここが一番の売り」というものがあれば |
| 所　　感 | ＜準備の進捗＞<br>夢洲の会場準備の進捗はまだまだこれからの状況に見えた。<br>2024年にすべてが細かく決まっていくとのこと。<br>１周２㎞のリングの中に各国のパビリオンが入る。公式参加表明は153か国・地域、８国際機関。アジア19、欧州39、アフリカ46、中南米21、中東13、北米２、大洋州13ということで、アフリカが多いなと率直な感想。<br>８人のプロデューサーのパビリオンも「売り」のようである。<br><br>＜大阪・関西万博の意義＞<br>今までの万博は文化・産業振興だったが、コロナを受けて今後どうやって人類が生き残っていくかについて正面から向き合うとの説明。壮大なテーマだが、成功に期待する。<br><br>＜来場目標＞<br>半年間で2,820万人が目標。海外からは350万人を想定（ＵＳＪが１年で1,400万人）とのこと。<br><br>＜万博への参加の仕方について＞<br>運営参加、催事参加、営業参加等があり、催事参加は自治体向けの参加枠有り。兵庫県がどのように参加し、そこに豊岡市がどう関わっていくか。<br><br>＜「万博＋観光」の推進で万博開催の効果を全国へ＞<br>来場予定者にポータルサイトを通じて各地域の旅行を商品化して案内。万博後でも各地域に波及していく展開に期待する。 |